

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：灰色ハッチング（対応済のコメント）

：黄色ハッチング（今回のヒアリングでの回答事項）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
【共通12】								
共通12全体	—	—	1	共通12_R2	2023年2月27日	条文毎の類型分類の整理結果（リスト）をもとに、共通13で類型分類（A/B-1～4）、工事の有無の整理、共通12では新設/改造をする設備に絞って類型分類（A/B-1、2）を示す資料構成としているが、共通12、13で説明する場所を複雑にせず、共通12で全ての構造（詳細な設備構造含む）を説明したと言えるよう整理すること。	新規に共通13として類型分類の考え方及び結果を示す資料は作成せずに、共通12の資料内で類型分類の考え方及び結果を示す構成に見直した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 本文 別紙1 類型分類の整理結果 別紙3 申請対象設備（類型分類及び構造設計の整理）リスト
申請書	—	—	2	共通12_R2	2023年2月27日	設備リストができて、構造の説明に進んでいるところだが、現実として構造の説明から設備リストにフィードバックを行い代表が再整理されるものもあるはずなので、対応すること。	別紙3 申請対象設備（類型分類及び構造設計の整理）リストとして、構造設計の分類を示す。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙3 申請対象設備（類型分類及び構造設計の整理）リスト
共通12全体	—	—	3	共通12_R2	2023年2月27日	耐震の類型整理の観点（説明項目が多いものを代表にしつつ、同じ説明項目でも他との差分は個別補足でという観点）と同様に、竜巻においても大枠としては飛来物防護ネットが1つであり、A4Bからの視点追加や設備対応が異なるものは差分を追加説明することで、ほぼ全てのネットが出てくるものと思っている。その中でA4Bとは異なるものの、他と同じものも整理され、説明の重複もせずすむため、リスト含め再整理すること。	先行例として飛来物防護板の構造設計につながる整理を別紙2-1の表で対応した。 具体的には、説明の重複を避けるため、共通的な方針となるものは、「設計上の配慮事項」の中で【共通設計】として示し、差分については、行を分けて示す方針とした。 なお、防護ネットとしての具体的な整理結果は別途示す。（No. 8と同様）	資料反映済（差分の示し方）： 共通12_R6 2023/3/17 提出 本文 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）内の表 資料反映： 2023/4/3週提出予定 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） 1.1 飛来物防護ネット
設備リスト	—	—	4	共通12_R2	2023年2月27日	P6～8：主条文に◎がつくものをピックアップしていく中で、No.1657 監視カメラのように、他条文に◎がついているものを8条で引っ張ってくると混乱するため、考え方を示すこと。	構造設計の説明は、主条文で整理（過去資料で別紙3のリストで「◎」、現在の資料で青ハッチングで整理）した条文説明の中で行う方針とした上で、監視カメラについては、主条文を制御室から外部衝撃（その他）に見直す。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 本文 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） 資料反映： 2023/4/3週提出予定 別紙3 申請対象設備（類型分類及び構造設計の整理）リスト

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：灰色ハッチング（対応済のコメント）

：黄色ハッチング（今回のヒアリングでの回答事項）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
設備リスト	—	—	5	共通12_R2	2023年2月27日	P6～8：現状で第8条に○がついていないものがあり、運用もしくは設計で担保するものを識別して示すとのことだが、注記にて対応するのか。	各条文の欄は○、△、一ではなく、類型分類（A、B-1～B-4）で示す方針に見直した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 本文 別紙3 申請対象設備 (類型分類及び構造設計の整理) リスト
構造概要（外部衝撃）	全般	整理表	6	共通12_R2	2023年2月27日	P11以降：表の並びは条文の順番か。	条文の順番となっていないため、条文の順番に見直す。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）内の表
構造概要（外部衝撃）	全般	整理表	7	共通12_R2	2023年2月27日	P11以降：基本設計方針の記載について、抜けなく記載すること。また、要求事項に記載する内容は基準要求とすること。	上流からの整理（基本設計方針⇒添付書類⇒構造設計）は、別添で行い、その中で構造設計に係る設計方針を別紙2で展開する。 なお、3/24提出資料においては、飛来物防護板に関連する条文に対して別添を提出する（ただし、添付書類の記載展開は飛来物防護板に関連する記載のみ）。 上記以外の条文及び防飛来物防護板以外に関連する項目の添付書類の展開については、別途提示する。	資料反映済： 2023/3/24提出 共通12_R7 別添 構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理（飛来物防護板に関連する条文） 資料反映： 次回以降順次提出 別添 構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理（飛来物防護板に関連する事項以外の整理結果）
構造概要（外部衝撃）	全般	整理表	8	共通12_R2	2023年2月27日	P11以降：基本設計方針と構造設計のつながりが不明確であるため、明確にすること。	防護ネットは、飛来物防護板の整理方針を踏まえ、見直し中。	資料反映： 2023/4/3週提出予定 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） 1.1 飛来物防護ネット
構造概要（外部衝撃）	竜巻	整理表	9	共通12_R2	2023年2月27日	P11以降：A4Bネットと同じであると説明している箇所があるが、本当に同じ構造設計であると言えるのかという包含関係が議論できるように表を整理すること。	(No. 8と同様)	(No. 8と同様)
構造概要（外部衝撃）	全般	整理表	10	共通12_R2	2023年2月27日	P13：No. 6について、地震時の相対変位を踏まえた隙間とあるが、その要求はどこに記載があるのか。また、条文ごとの相互関係を踏まえて設計しているところについては、関係性が分かるように番号で呼び合う等で修正すること。	他条文の関係については、整理表では【】で図では○で関連する整理表No. を示す方針とした。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 本文 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：灰色ハッチング（対応済のコメント）

：黄色ハッチング（今回のヒアリングでの回答事項）

コメント管理No.			コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール	
分類 (キーワード)	構造概要の分類							No.
	中分類	小分類						
構造概要（外部衝撃）	竜巻	整理表	11	共通12_R2	2023年2月27日	P13：No.6構造設計のまた以降の記載が設計方針の追加ではなく具体の展開であることが分かるように記載すること。また、1文目の記載について外部要因からケースが分かれ、それぞれどのような設計としているということが分かるよう修正すること。	(No.46と同様)	(No.46と同様)
構造概要（外部衝撃）	全般	整理表、 図面	12	共通12_R2	2023年2月27日	表と図の関係を明確になるように見直すこと。	図の中の吹き出しに表の番号をつける対応で紐づけを明確にした。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）
その他	—	—	13	共通12_R2	2023年2月27日	建屋から支持を取っている飛来物防護板は「構築物」に整理しているとのことだが、建屋に構築物を増設するという考えか。	建屋から支持を取っている飛来物防護板は構築物として整理するため、建屋に構築物を増設するという位置づけになる。構築物になるという整理方針については、別紙2-1の本文に示した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）本文
共通12全体	—	—	14	共通12_R2	2023年2月27日	P6：章番号の隣にある番号について、「共通12 構造概要の類型」の欄で示す分類番号と整合が取れていないため見直すこと。	誤記を修正した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙3 申請対象設備 （類型分類及び構造設計の整理）リスト
その他	—	—	15	共通12_R2	2023年2月27日	2月の審査会合でも触れたが、竜巻で説明を受けた内容（一部、設計飛来物が飛来物防護ネット内に侵入する可能性がある）について、本日の説明では第1回設工認で認可済の基本設計方針を変更するということがあったが、その場合は事業変更許可との関係も整理する必要がある（事業変更許可の変更も必要となる可能性がある）ため、許可時に間違った説明をしたということであれば、相当な対応が必要であるということを確認しておくこと。	事業変更許可との関係も踏まえ、対応方針検討中。	資料反映： 2023/4/3週提出予定 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） 1.1 飛来物防護ネット
本文	—	—	16	共通12_R3	2023年3月3日	2. 類型分類にて<具体的な対象>の避雷設備が唐突な記載となっているなど、2. 類型分類と3. 設備の構造設計の説明が繋がっていない。P17に記載されている設備の分類を整理し、3. 設備の構造設計の説明へつながる説明を精査する必要がある。	2. 類型分類のAの<具体的な対象>の記載を見直すとともに、2. 類型分類と3. 設備の構造設計のつながりの記載を拡充した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 本文

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：灰色ハッチング（対応済のコメント）

：黄色ハッチング（今回のヒアリングでの回答事項）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
共通12全体	—	—	17	共通12_R3	2023年3月3日	各条文の類型分類の設備数を示したP17の別紙1には、P18以降（別紙1のエビデンスとなる設備リスト）に示す「◎」（8条で構造説明するもの）、「○」（8条で構造説明しないもの）が含まれており、これらを全て別紙として添付する場合、資料も膨大となり見にくくなるため、「◎」、「○」の扱いを整理し、別紙1に添付すべき資料の内容および構成を精査すること。	「2. 類型分類」及び「3. 設備の構造設計」の内容を集約した「別紙3 申請対象設備（類型分類及び構造設計の整理）リスト」を新規で作成した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙3 申請対象設備 （類型分類及び構造設計の整理）リスト
共通12全体	—	—	18	共通12_R3	2023年3月3日	P18の別紙1（類型分類の整理結果）の設備リストで、3.の構造設計の分類も混在しており、その考え方が後段の別紙2で記載されていることにより混乱を招くため、2. 類型分類及び3. 設備の構造設計でそれぞれ何を示すべきかを整理の上、別紙1の設備リストの構成を再整理すること。（例えば、構造設計の説明に関連しない安全機能を有する施設のリストを別表に整理する等）	(No. 17と同様)	(No. 17と同様)
構造概要（外部衝撃）	全般	整理表	19	共通12_R3	2023年3月3日	P305：基本設計方針が第2章しか記載していないが、波及影響機器については第1章 共通項目からしか設計方針を抽出できない場合もあるため、第1章の基本設計方針も必要では。第2章より第1章の方針の方が広く記載されており、第1章を記載することで設計方針の漏れの発生も防げるかと思うため、追加すること。	別紙2の整理表には、第1章、第2章の必要な内容を記載する方針を本文に記載した上で、各条別紙2で設計方針の漏れがないよう記載を拡充した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 本文 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）
構造概要（外部衝撃）	全般	整理表	20	共通12_R3	2023年3月3日	P305：基本設計方針は第1章と第2章の関係を踏まえ並記すること。条文によっては第1章と第2章の関係が異なるものもあるかと思うので、それぞれ対応すること。	(No. 19と同様)	(No. 19と同様)
構造概要（外部衝撃）	耐震	整理表	21	共通12_R3	2023年3月3日	耐震の基本設計方針はほぼ第1章であり、抜き出す必要があるところはあまりないため、スクリーニングをかけて、必要となる部分を抽出すること。	構造設計を示す整理表作成の基本的な考え方については、本文の「3. 設備の構造設計」の中で示す。 これを踏まえ、各条文で基本設計方針の整理結果を別添で示す。(No. 7と同様)	資料反映済： 共通12_R7 2023/3/24 提出 本文 3. 設備の構造設計 (5) 構造設計の整理 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） 資料反映： 次回以降順次提出 別添 構造設計の説明 が必要となる基本設計 方針の関係整理 (No. 7と同様)

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：灰色ハッチング（対応済のコメント）

：黄色ハッチング（今回のヒアリングでの回答事項）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 （キーワード）	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
本文 構造概要（外部衝撃）	全般	整理表	22	共通12_R3	2023年3月3日	P12の設計方針（添付書類）および設計上の記載事項（配慮事項）について、現状の添付書類の記載有無に関わらず共通12に記載すること。その後、それを添付書類のどこ（添付書類か図面化等）で記載すべきか整理すること。	別紙2で上流側からの整理結果を踏まえ、構造設計として記載すべき内容を精査する。その結果を各条00別紙にも反映する。	資料反映 ・共通12 別紙2（構造概要）整理表 ・各条00別紙
構造概要（外部衝撃）	耐震	整理表	23	共通12_R3	2023年3月3日	P304：添付書類の欄も1つだけで十分なのかとも思っている。類型後の設計プロセスの関係部分や、別紙4-1の基本設計方針を受けた方針を記載する欄を設ける方法もある。FEMのものが構造設計の記載をもってきてよい。申請書と親和性の高い形で整理すること。	(No. 53と同様)	(No. 53と同様)
構造概要（外部衝撃）	耐震	整理表	24	共通12_R3	2023年3月3日	P304：横軸の記載は耐震独自で整理すること。関連条文として何を書くべきかではなく、それぞれの条文で何を書くべきかを定めるべき。耐震は関連が多いので先行してフォームを固めること。	(No. 53と同様)	(No. 53と同様)
本文 構造概要（外部衝撃）	全般	整理表	25	共通12_R3	2023年3月3日	設計上の配慮事項が全体共通なのか、特異なのか、特異のものにも分類があってそれをどう示すか整理すること。また、整理の考え方を本文にも記載すること。	整理表に関しては、(No. 46と同様) 本文の記載については、「3. 設備の構造設計」に記載した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 本文、別紙2-1 構造概要（外部衝撃）整理表
構造概要（外部衝撃）	竜巻	整理表	26	共通12_R3	2023年3月3日	P303：G10で建屋に設置する飛来物防護板について、構造設計の記載が「迫り」となっており、飛来物防護板（防護板（鋼材）及び支持架構）で類型できるのかわからないため、どういう整理で説明するか考え方を示すこと。	(No. 36と同様)	(No. 36と同様)
共通12全体	—	—	27	共通12_R3	2023年3月3日	P18のグレーハッチング箇所の条文（施設共通方針のみ）について、Aの新設ものは説明が必要。ただし、各条文で構造設計を全て書くと煩雑になるためそこまでは必要ないが、どこかで記載したものを呼び込みでもいいが、説明すべきところはしっかり説明すること。	(No. 83と同様)	(No. 83と同様)
設備リスト	—	—	28	共通12_R3	2023年3月3日	P21以降の設備リストにて安全機能を有する施設の扱いを再整理すること。	条文の主語が安全機能を有する施設であるものについては「—」ではなく類型分類（A、B-1～4）に見直した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙3 申請対象設備（類型分類及び構造設計の整理）リスト

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：灰色ハッチング（対応済のコメント）

：黄色ハッチング（今回のヒアリングでの回答事項）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
構造概要（外部衝撃）	竜巻	整理表	29	共通12_R3	2023年3月3日	P304以降の構造設計の欄で差分として記載している事項に関連する設計上の配慮事項が空欄となっている箇所があるので追記すること。また、ボルトの長孔の構造設計について、竜巻の評価上期待せずに評価するものであるが、構造上はその効果を期待して設計しているものであることが分かるように記載を見直すこと。	取付ボルトの強度評価においては、保守的に長孔を考慮しない旨、別紙2-1の整理表に記載した。防護板以外にも構造上の効果を期待して設計しているものがある場合には、その旨を記載する。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） 整理表
構造概要（外部衝撃）	外部火災	図面	30	共通12_R3	2023年3月3日	P322の耐火被覆に係る塗装範囲の概要図については、航空機墜落位置を反映すること。	航空機墜落位置が明確になるように外周ラインを概要図へ反映した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1.2.1-12図
構造概要（外部衝撃）	竜巻	図面	31	共通12_R3	2023年3月3日	P323：KA建屋とAB建屋の建屋間の屋外ダクトの飛来物防護板の取り合い（支持架構及び防護板が分離しているのか、エキスパンションを設置しているのか）がよくわからない。また、AB建屋の壁面に設置している飛来物防護板と基礎の取り合い（壁面だけではなく、基礎にも支持架構を設置して支持しているのか）についても明確にすること。	屋外ダクトの飛来物防護板について、建屋間および基礎との取り合いが分かる情報を追加した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1.2.1-13図
構造概要（外部衝撃）	竜巻	図面	32	共通12_R3	2023年3月3日	屋外ダクトの飛来物防護板の地震の相対変位を考慮した隙間に対して、竜巻でどのように構造設計しているかが分かるようにすること。	設計飛来物が侵入しないようにラビンス構造となっていることが分かるように記載した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1.2.1-8図 ・第1.2.2-1図
構造概要（外部衝撃）	耐震	図面	33-1	共通12_R3	2023年3月3日	P309の飛来物防護板（A1）の中央ブロックは、異なる基礎（主排気筒基礎に増設した基礎）から支持しているものの上側（支持架構及び防護板）の取り合いがよくわからないため明確にすること。	支持架構及び防護板が基礎のブロックごと（東、中央、西）に支持架構および防護板が分離した構造であることが分かるように概要図を見直した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） 第1.2.1-1図
設備リスト	耐震	—	33-2	共通12_R3	2023年3月3日	主排気筒の基礎に基礎を増設しているのに、設備リストにおける主排気筒の工事は無が「—」になっているのもおかしいため、再整理すること。	別紙3の主排気筒の「工事の有無」の記載を工事に修正する。	資料反映済： 次回以降反映 共通12 別紙3 申請対象設備 （類型分類及び構造設計の整理）リスト
構造概要（外部衝撃）	竜巻	図面	34	共通12_R3	2023年3月3日	建屋間の相対変位（他条文の要求事項とリンクして構造設計する箇所）について、表としては考慮する旨記載しているが、概要図でもそのリンクがわかるようにすること。	概要図でも他条文の要求事項とのリンクがわかるように関連する整理表の番号を括弧書きで記載した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） 図

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：灰色ハッチング（対応済のコメント）

：黄色ハッチング（今回のヒアリングでの回答事項）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
会合資料	—	—	35	共通12の対応方針	2023年3月7日	会合資料について、別紙3の主要条文毎に青ハッチングした設備を抜き出すとともに、A, B-1, B-1'等の類型分類および構造類型の分類を踏まえて条文毎の表に加工したものを付けること。一度提出し、認識合わせを行うこと。	別紙3で整理した類型分類及び構造分類の整理結果を踏まえた会合での類型分類のエビデンス資料のイメージを別途説明する。	資料反映： 次回以降反映 共通12
構造概要（外部衝撃）	竜巻	整理表	36	共通12の対応方針	2023年3月7日	別紙2の構造設計について、設備を横に並べるのはサンプリングの観点からありえないため、設備毎に分けず一列にまとめて記載すること。主で説明するものと差分かかるように順々に記載しそれぞれ概要図へ展開すること。	構造設計は一列で記載する方針とし、共通設計で説明するもの、差分として説明するものを縦に記載し、概要図へ展開するように修正した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）内の表
構造概要（外部衝撃）	竜巻	図面	37	共通12の対応方針	2023年3月7日	3/3版の資料にて複数の図面で説明の重複があったが、共通の構造設計を説明する概要図、構造設計の差分を説明する概要図を整理して合理化すること。	類型して構造設計を説明するという主旨を踏まえ、別紙2の構造設計整理表から展開する概要図についても構造設計整理表の記載に合わせ、必要な図面のみ添付した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2 構造概要
共通12全体	—	—	38	共通12の対応方針	2023年3月7日	別紙2の構造設計整理表が飛来物防護板や飛来物防護ネットなどの類型の分類ごとに別々で作成する際に、構造設計に関連する基本設計方針の網羅性はどのように示すのか整理すること。（例：条文毎に構造設計整理表に記載する基本設計方針は該当しないものも含めて記載した上で、当該設備で説明がないものについては、他の別紙2の構造設計整理表とのリンクを張る。もしくは基本設計方針を一つにまとめて表を作って、どの別紙2の構造設計整理表で展開しているかを示す方法もある。）	(No. 63と同様)	(No. 63と同様)
設備リスト	—	—	39	共通12の対応方針	2023年3月7日	前回の会合で示した各条の類型分類は別紙3でまとめて示す方針は理解したが、各条文で類型分類を整理する際はさらに設計項目（対策設備、防護設備、安全機能を有する施設等）をさらに分けて分類していたため、別紙3で各条文の設計項目をまとめて示す方法を整理すること。	各条文で類型分類の設計項目の整理表（例 B-2 ①：建屋内に収納される防護対象、B-2②：波及影響の対象設備等）を別紙1で作成し、別紙3の表へ当該整理表の情報を反映する。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙3 申請対象設備（類型分類及び構造設計の整理）リスト
構造概要（施設共通）	全般	図面	40	共通12_R4	2023年3月10日	別紙3にて黄色ハッチングで整理している施設共通基本設計方針に係る構造設計の整理表（別紙2-8）は、構造設計の概要の文章だけが記載されているが、構造設計の内容を説明するための概要図を添付すること。	(No. 83と同様)	(No. 83と同様)
共通12全体	—	—	41	共通12_R4	2023年3月10日	別紙3にて条文毎に構造設計を説明不要と整理しつけている「」（ダッシュ）の有無はどう判断したのか。判断理由が分かるようにすること。	(No. 61と同様)	(No. 61と同様)

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：灰色ハッチング（対応済のコメント）

：黄色ハッチング（今回のヒアリングでの回答事項）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
設備リスト	—	—	42	共通12_R4	2023年3月10日	別紙3フォームについて、前回の会合資料を踏まえ必要な情報のみに見直すこと。	2月の会合で示した別添資料に合わせて、別紙3のフォームに必要な情報のみ記載するよう見直した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙3 申請対象設備 (類型分類及び構造設計の整理) リスト
設備リスト	—	—	43	共通12_R4	2023年3月10日	P82の類型分類の凡例について、5条6条のうち変更していない類型分類は番号を振る必要はないと思うため精査すること。	類型分類のエビデンスとして本番号は必要となるため、残すこととする。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙3 申請対象設備 (類型分類及び構造設計の整理) リスト
共通12全体	—	—	44	共通12_R4	2023年3月10日	P77別紙3に記載のある耐震設計「C」、「C-1」について、波及影響対象かどうかの整理として、共通12の中で防護対象との位置関係が確認できるようにすること。	評価につながる情報として、共通12の中で「C」、「C-1」の整理の基となる配置情報についても整理し追加した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） 第1.2.2-1図
申請書	—	—	45	共通12_R4	2023年3月10日	P77別紙3について、耐震計算書の「飛来物防護板（端子盤エリア）」はどれに該当するか。耐震計算書と別紙3の設備リストが整合していないため、修正すること。	No3620の「飛来物防護板（冷却塔接続 屋外設備）」が該当する。設備リストの名称が正であり、耐震計算書の名称と不整合があるため、次回補正時に申請書を修正する。	資料反映： 次回補正時
構造概要（外部衝撃）	竜巻	整理表	46	共通12_R4	2023年3月10日	P26別紙2の構造設計の整理表について、設計方針、設計の配慮事項から構造設計へ紐づけして整理しているが、構造設計の説明ロジックを意識した設計方針の流れを踏まえて整理すること。 (以下内容を例として指摘を受けた) ・No.5が最初であり、飛来物の侵入角度を考慮し防護板を設置します。こういう条件（ラビリンス構造）で設置しますというような流れでは。 ・No.3の鋼板の形状、重量低減についても基本設計方針との関係性が不明確。 ・P37の概要図も構造設計を工夫したところという意味では説明ポイントだが、説明の流れのどこで説明する内容か整理すること。 ・共通的な設計であることが明確になるように記載すること。	構造設計の説明ロジックを踏まえ、共通的な設計方針は【共通設計】として前段に記載し、関連する差分の構造設計をその後段に記載する方針とする。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）整理表

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：灰色ハッチング（対応済のコメント）

：黄色ハッチング（今回のヒアリングでの回答事項）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
構造概要（外部衝撃）	竜巻	整理表	47	共通12_R4	2023年3月10日	P26別紙2のNo. 13（GA建屋の防護板は、制約が少ないため、他の鋼材の防護板と異なり、厚い防護板を採用）について、代表に包含できない設計としているのであれば、代表に含めず個別で説明すること。また、P49第16図を引用しておらず、ぶら下がる基本設計方針も波及的影響の記載となっており、おかしいため、合わせて修正すること。	(No. 67と同様)	(No. 67と同様)
構造概要（外部衝撃）	竜巻	図面	48	共通12_R4	2023年3月10日	P49の説明で写真に見えていない右側の防護板について触れたが、写真を追加する必要があるのであれば追加すること。	概要図を添付するとともに、添付する写真を見直した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） 第1.2.1-23図

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：灰色ハッチング（対応済のコメント）

：黄色ハッチング（今回のヒアリングでの回答事項）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
構造概要（外部衝撃）	竜巻	整理表	49	共通12_R4	2023年3月10日	P26別紙2の飛来物防護板の説明範囲が不明確。P23にて飛来物防護板の分類を二つに仕分けしているのであれば、P51と同様にP26の表題に分類を反映すること。また、P26とP51の整理表間の関係性が分かるよう記載を行うこと。	<p>表題を飛来物防護板の分類について「竜巻に関する飛来物防護板（防護板（鋼材）及び支持架構）の構造設計」へ修正した。また、飛来物防護板の各整理表間の関係性が分かるよう、それぞれの整理表の設計上の配慮事項へ追記した。</p> <p>但し、「第1.2.1-4表 火山の影響に関する飛来物防護板の構造設計」について、表題への分類の記載がないため、火山の影響に関する飛来物防護板の構造設計（防護板（鋼材）及び支持架構）のように関連する整理表にそれぞれ括弧の記載を追記する。</p>	<p>資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1.2.1-2表</p> <p>資料反映済： 2023/3/24 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1.2.1-4表等</p>
構造概要（外部衝撃）	竜巻	整理表	50	共通12_R4	2023年3月10日	P26別紙2の一行目について、構造設計で関連する概要図の呼び込み等の記載がないため、記載を見直すこと。	構造設計欄へ紐づく図面の呼び込みを追記した。	<p>資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1.2.1-2表</p>
構造概要（外部衝撃）	竜巻	整理表	51	共通12_R4	2023年3月10日	P46の屋外ダクトの防護板は、下面の板がついてない空隙部分の構造設計について、P26No.2の下線部分「直接衝突しない構造」で整理しているとのことだが、共通としてまとめすぎであるため、飛来物侵入経路としてどういった箇所を考えるのかという点について潰しこみを行うこと。No.5についてもラビリス構造としての説明が足りているかについて精査すること。	共通設計として、「防護板（鋼材）は、設計上考慮する飛来物が、竜巻防護対象施設に直接衝突しないように設置する。」とした上で、隙間の設計の差分を網羅的に記載した。	<p>資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1.2.1-2表</p>
構造概要（外部衝撃）	竜巻	本文	52	共通12_R4	2023年3月10日	P23に飛来物防護板が構築物の分類であることを明記すること。	別紙2-1本文の1.2項へ飛来物防護板が構築物の分類である旨記載した。	<p>資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）1.2 飛来物防護板</p>

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：灰色ハッチング（対応済のコメント）

：黄色ハッチング（今回のヒアリングでの回答事項）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
共通12全体	—	—	53	共通12_R4	2023年3月10日	耐震は個別に説明として合意したはず。耐震の設計考慮を一つ一つ開いても意味がないため、網羅する形で整理して説明すること。波及的影響機器とはいえ説明が不十分（設計方針が一行しか書いていない、配慮事項で特化したことしかかいていない、配慮事項と具体の設計がオウム返し）という状況のため、そのあたりの方向性（どういう単位でどういうことを説明していくかの方針）について整理し、朝会等を活用し説明すること。	建物・構築物と機器・配管のSクラス、波及影響施設の4分類及び地下水排水設備の1分類の計5分類で記載を整理する方針とする。 なお、3/24提出時は波及影響施設を代表で記載例を作成した（波及影響施設以外は別途提出予定。）	資料反映済： 共通12_R7 2023/3/24 提出 別添 構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理（地震のうち波及影響施設） 資料反映： 次回以降 別添 構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理（地震のうち波及影響施設以外）
構造概要（外部衝撃）	外部火災	図面	54	共通12_R4	2023年3月10日	P45外部火災の耐火塗装の施工範囲を示した概要図の外周ラインについて、どのような考えで外周ラインを設定しているのかわかるようすること。	(No. 77と同様)	(No. 77と同様)
構造概要（外部衝撃）	全般	整理表、 図面	55	共通12_R4	2023年3月10日	一般的に別紙2の構造設計の整理表と概要図のリンクを整合させること。また、概要図ではわかりづらい箇所もあるため、写真を活用し説明すること。	整理表と概要図の記載が整合するよう見直す。 また、写真を活用することも考慮し、資料を精査する。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）（一部見直し） 資料反映： 次回以降 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）
構造概要（外部衝撃）	火山	整理表、 図面	56	共通12_R4	2023年3月10日	P29火山別紙2にて構造設計の説明に概要図を追加すること。（竜巻の説明で添付している概要図を用いてもよい。）	火山に関する構造設計について、概要図を追加した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1.2.1-4表 ・第1.2.1-2図 ・第1.2.1-12図

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：灰色ハッチング（対応済のコメント）

：黄色ハッチング（今回のヒアリングでの回答事項）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
本文	—	—	57	共通12の整理方針（基本設計方針の網羅性）	2023年3月15日	P1：2. の基本設計方針の抽出の考え方について、各条00別紙で既に整理されている要求種別に基づき抽出することは理解するが、その考え方を資料にしっかり資料に記載できていない。また、②の2ボツ目について、評価条件に関するものは記載しないのはいいが、括弧書きの「荷重の組合せ」については、何の荷重かによって、構造設計に関係するかどうかが変わるため、それを踏まえて記載を見直すこと。	構造設計が必要となる基本設計方針の抽出の考え方を本文「3. 設備の構造設計」共通12の本文に記載する。	資料反映済： 共通12_R7 2023/3/24 提出 共通12 本文 3.1 対象の抽出の考え方
構造概要（外部衝撃）	全般	整理表	58	共通12の整理方針（基本設計方針の網羅性）	2023年3月15日	P2：別紙2の「設計上の配慮事項（周辺環境等）」について、周辺環境を例示として括弧書きしているが、例示する際には、最も主となる配慮事項を括弧書きとして記載すること。	「設計上の配慮事項（周辺環境等）」の記載を「設計上の配慮事項」へ見直す。	資料反映済： 共通12_R7 2023/3/24 提出 本文 別紙2（構造概要）
共通12全体	—	—	59	共通12の整理方針（基本設計方針の網羅性）	2023年3月15日	P2：別紙4としてつけている「構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理」が共通12の中で一番の入口であるのに対し、別紙としては一番最後についている。別紙の構成について、全体の説明の流れを踏まえ再整理すること。	これまで別紙4で整理していた「構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理」については、各別紙の説明の入り口となる整理であることを踏まえ、別添に位置付けて整理する。また、別添、別紙を含む全体の説明の流れを踏まえ、本文「3. 設備の構造設計」の記載を見直した。	資料反映済： 共通12_R7 2023/3/24 提出 共通12 本文 3. 設備の構造設計 別添 構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理
共通12全体	—	—	60	共通12の整理方針（基本設計方針の網羅性）	2023年3月15日	P2：別紙4と別紙2の関係は一例しか記載がないが、飛ばし先の構造設計整理表が違う場合（複数に飛ぶもの、他条文に飛ぶもの）の示し方を整理すること。別紙2の中で関係性を示すことは指摘していたが、別紙4の中で関係性を示すものがあれば示し方を整理すること。	別添で関連する別紙2の整理表が複数ある場合は、全て記載する。 別紙2間で他条文と関連があるものは【】にて関係性を示す。(No. 10と同様)	資料反映： 次回以降順次反映別添 において別紙2の整理 表との関連を示す

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：灰色ハッチング（対応済のコメント）

：黄色ハッチング（今回のヒアリングでの回答事項）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
共通12全体	—	—	61	共通12の整理方針（基本設計方針の網羅性）	2023年3月15日	P2：別紙3（申請対象設備（類型分類及び構造設計の整理）リスト）の中で構造設計不要としているもの（記号にダッシュを付するもの）が、別紙4での整理結果とつながるように、別紙4の基本設計方針に対して類型分類の設計項目（防護対象施設等）のどれが該当するかを記載等して別紙3と別紙4を紐づけること。	別紙3の凡例で示す各条の類型分類（記号一丸番号）が別添で整理する基本設計方針から構造設計につながる整理表の各項目で、どの項目に該当するかを示す方針とする。	資料反映済： 2023/3/17 提出 「共通12の構成（全体体系）」（別添の整理方針） 資料反映済： 共通12_R7 2023/3/24 提出 共通12 別添 構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理（「別紙2との関係」、「類型分類」の欄に別紙3凡例とのリンクを記載）
共通12全体	—	—	62	共通12の整理方針（基本設計方針の網羅性）	2023年3月15日	p2：別紙4,2との関係を踏まえて構造設計の整理が必要であることを、社内関係者へインプットすること。また、構造設計の説明が必要な対象を網羅的に示すため、上流からの整理（基本設計方針⇒添付書類⇒構造設計）で対象が漏れなく抽出できていることを示すこと。	上流からの整理を別添（構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理）にて行う。先行して、飛来物防護板に関連する条文で作成を行い、これを例に他条文への展開も順次行う。	資料反映： 2023/3/24提出 共通12_R7 別添 構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理（飛来物防護板に関連する条文） 資料反映： 次回以降順次提出 別添 構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理（飛来物防護板に関連する事項以外の整理結果）

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：灰色ハッチング（対応済のコメント）

：黄色ハッチング（今回のヒアリングでの回答事項）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
共通12全体	—	—	63	共通12の整理方針（基本設計方針の網羅性）	2023年3月15日	設計方針（添付書類）は上流の添付書類だけではなく、子添付、孫添付、計算書を列記すること。そのうえで構造設計として必要な箇所が判断できるようにすること。なお、共通12の中で細かく記載すると資料が膨大となるため、各条00別紙4を活用（引用）して説明することも可。計算書も前半部分で必要な部分もあり、計算書の精査を待っていると共通12の対応が遅れるため、計算書関連の記載はブラッシュアップするにせよ、どう整理するか検討すること。	共通12別添では、各条00別紙3、4で整理している基本設計方針から添付書類の記載展開を考慮した上で、構造設計に展開不要な内容は添付書類の記載を「—」で省略し、構造設計に係る記載に関して、関連する添付書類について全て記載する方針とする。なお、「—」で省略した添付書類の内容は各条00別紙で確認できる。 なお、今後の別添の作成に関してはNo.7と同様。	資料反映済： 2023/3/17 提出 「共通12の構成（全体体系）」 資料反映済： 2023/3/24提出 共通12_R7 別添 構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理（飛来物防護板に関連する条文） 資料反映： 次回以降順次提出 別添 構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理（飛来物防護板に関連する事項以外の整理結果）
構造概要（外部衝撃）	竜巻	本文	64	共通12の整理方針（基本設計方針の網羅性）	2023年3月15日	P3：別紙4の記載例で表番号でなく【 】で示した別紙2との紐づけの記載（【竜巻防護施設を収納する構造】等）について、暫定的に定性的な記載としているが、具体的に記載するより分かりやすいかと思う。共通12別紙2のP22類型目次では【 】とのつながりが見えないため、【 】のものを類型のP22の表題にして、紐づくようにすること。	別紙1で整理した類型分類と別紙2の目次で示す構造類型の関係が明確になるように、別紙2の目次に【 】で類型分類の対象を示す。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）目次（本方針で外部衝撃以外についても順次展開予定。）
構造概要（施設共通）	安有	整理表	65	共通12_R5	2023年3月15日	P25：別紙2のNo.3について、メンテナンス性の考慮については、施設共通の基本設計方針（第16条安有）を受けての展開であるため、共通方針に対して、個別の別紙2の表へどのように展開されるかを考慮し再整理すること。	(No.83と同様)	(No.83と同様)

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：灰色ハッチング（対応済のコメント）

：黄色ハッチング（今回のヒアリングでの回答事項）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 （キーワード）	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
構造概要（外部衝撃）	竜巻	整理表	66	共通12_R5	2023年3月15日	P25：竜巻の基本設計方針第2章の冒頭にある共通条文に基づく記載について、別紙2に記載がないが、別紙4にて冒頭宣言のため構造設計との関係なしと整理するのはいいが、冒頭宣言を受ける設計方針が後段にあることが前提条件のはずなので、精査すること。	冒頭宣言および冒頭宣言を受ける基本設計方針が構造設計に関係するかどうかの整理については別紙4として精査中。	資料反映： 次回以降提出 別紙4 構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理
構造概要（外部衝撃）	竜巻	整理表	67	共通12_R5	2023年3月15日	P25：構造設計を2列で記載しているが、構造設計が違う箇所が多いのであれば、程度間に応じて縦に並べる、表を分けるという整理方法についても検討すること。分ける程度感含め検討し説明すること。	共通的な構造設計が複数あり、説明の重複を避けるため、一列にまとめ、設計の差分として示す方針とする。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1.2.1-2表
構造概要（外部衝撃）	竜巻	整理表	68	共通12_R5	2023年3月15日	P25：No. 1, 2の共通設計の中にNo. 5, 6等の設計が包絡されており、他条文要求を踏まえそれぞれ設計を変えていることが分かるような記載に見直すこと。	共通設計として、「防護板（鋼材）は、設計上考慮する飛来物が、竜巻防護対象施設に直接衝突しないように設置する。」とした上で、隙間の設計の差分を網羅的に記載した。また、他条文要求を踏まえた記載であることを【】にて記載した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1.2.1-2表
構造概要（外部衝撃）	耐震	図面	69	共通12_R5	2023年3月15日	飛来物防護板のうち、P40等で示した地震の変位量を考慮すると防護板同士もしくは防護板と建屋（洞道含む）が衝突する可能性があるものについては、飛来物防護板としての条文要求（波及影響を考慮する場合1.2Ss）だけでなく、衝突先（建屋（洞道含む））の条文要求も踏まえて、Sd評価時の変位量、建屋の耐震評価に衝突影響を考慮するか等の影響について整理すること。また、衝突しても竜巻防護対策設備としての担保事項（設計飛来物の侵入を防止する）が確保できることの説明を改めて整理して示すこと。	事実関係を整理し、対応方針及びスケジュールを検討する。	資料反映： 2023/4/3週提出予定 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）
構造概要（外部衝撃）	耐震	図面	70	共通12_R5	2023年3月15日	建屋の耐震計算書では衝突の影響による荷重を考慮する必要があるか整理すること。クリアランスの確保がマストではないが、設計方針としてどうするかというところを含め改めて説明すること。	事実関係を整理し、対応方針及びスケジュールを検討する。	資料反映： 2023/4/3週提出予定 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）
構造概要（外部衝撃）	竜巻	図面	71	共通12_R5	2023年3月15日	構造設計の説明において、会合で示した2-2（解析、評価等）につながるものについては、別紙2の整理表の記載および図面でそれがわかるよう吹き出しに記載すること。	別紙2の整理表または図面の吹き出しにおいて、2-2への展開があることを記載する。（記載例：取付ボルトの評価方針等は、「2-2：解析、評価等」にて説明予定）	資料反映： 次回以降提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） （上記以外については、順次展開予定）

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：灰色ハッチング（対応済のコメント）

：黄色ハッチング（今回のヒアリングでの回答事項）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 （キーワード）	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
構造概要（外部衝撃）	竜巻	図面	72	共通12_R5	2023年3月15日	別紙2でラピンス構造により、飛来物の侵入を防止するとしたものについては、この構造で良いという説明がないのでその妥当性を説明すること（防護ネットの説明においても同様）。	図面で侵入経路がわかるように線を引き、構造の妥当性（防護対象施設に飛来物が直接衝突しない）を説明する。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1.2.1-8図 ・第1.2.2-1図
構造概要（外部衝撃）	竜巻	図面	73	共通12_R5	2023年3月15日	P60：図面の右側は壁のように見えるが、何があるのか示すこと。	図面として示すべき情報を整理して、反映した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1.2.1-17図
構造概要（外部衝撃）	竜巻	整理表	74	共通12_R5	2023年3月15日	P26：別紙2 No. 14に共通設計の記載があり、個別設計の後に記載があるため、どの位置で整理するのが適切か検討すること。	別紙2では上流からの整理結果を踏まえ、共通設計の記載位置を見直した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1.2.1-2表
構造概要（外部衝撃）	竜巻	整理表	75	共通12_R5	2023年3月15日	防護板は単に板厚あればよいのではなく、飛来物から守れるのか、ものとして支持を適切に受けられているかが重要であるため、それらの構造設計の方針が現状の添付書類に記載があるかを確認し、記載がなければ今後追記することを踏まえ記載すること。	別紙2では上流からの整理結果（別添の整理結果）を踏まえ、構造設計として記載する。	資料反映： 共通12 次回提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1.2.1-2表
構造概要（外部衝撃）	竜巻	図面	76	共通12_R5	2023年3月15日	全体的に図面へ記載する情報が不足しているため、一般的な図面の作法は押さえつつ、情報を拡充すること。 《以下指摘箇所》 ・P91：支持部が不明確、フードの部分にて飛来物防護板の荷重を受けて問題ないか。平面図の白四角部が断面図側で読み取れない。 ・P68：梁が浮いた感じであって、柱が書いていない。長手方向の針だけでなく短手方向の梁もかけていない。断面で切っているが奥に見えるものが書かれていない。 ・P87のハッチングが間違っている。 ・P84のアンカー位置が示されていない。	構造設計の説明をする上で必要な情報を精査し、情報が不足している箇所は図面を見直す。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）図

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：灰色ハッチング（対応済のコメント）

：黄色ハッチング（今回のヒアリングでの回答事項）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
構造概要（外部衝撃）	外部火災	図面	77	共通12_R5	2023年3月15日	P45：前回のヒアリングにて指摘した外周ラインの考え方について示すこと。	GLレベルになる基礎や基礎上の飛来物防護板で最も外側になる設備を繋いだラインが外周ラインであることを概要図にて明確にした。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1.2.1-14図
構造概要（外部衝撃）	竜巻	図面	78	共通12_R5	2023年3月15日	P114の落雷「A' ③」について、主排気筒は雷撃を補足して接地極へ流すこととなっているが、飛来物防護板を設置することで接地極へ雷撃を流すことに対する悪影響はないか説明すること。	主排気筒への飛来物防護板の設置に伴う落雷の影響（主排気筒と飛来物防護板には隙間があり電氣的に接続していないこと）については、別紙2（構造設計）で説明する。	資料反映済： 共通12_R7 2023/3/24 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1.2.1-5表
共通12全体	—	—	79	共通12_R6	2023年3月22日	共通12の各別紙の説明の流れについて、本日の会合資料の説明にて別紙4を上流にとあったが、その考えに従い再整理すること。また、本文も見直すこと。	(No. 59と同様)	(No. 59と同様)
共通12全体	—	—	80	共通12_R6	2023年3月22日	安有のように方針（代替処置、保守・修理等）しか関わらないものについてダッシュがつくことだが、代替措置できる構造かについても、構造設計に関係するため、説明対象として再整理すること。	関連する各条文について、共通12別添及び別紙2にて構造設計の説明対象として再整理する。	資料反映済： 共通12_R7 2023/3/24 提出 別添 構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）
共通12全体	—	—	81	共通12_R6	2023年3月22日	P5にある②⑥がダッシュの付く対象とのことだが、丸番号で識別できるためダッシュは不要では。丸番号の中でダッシュがつくものつかないものが混在しないよう類型すること。	ダッシュは、丸番号を必要に応じ分類を細分化することで、説明分類がA、B-1～B-3のうち、構造設計の説明が不要となる対象を明確化できることから、使用しない方針とした。上記を踏まえ、本文及び別紙3について見直しを行った。	資料反映済： 共通12_R7 2023/3/24 提出 本文 別紙3 申請対象設備（類型分類及び構造設計の整理）リスト
共通12全体	—	—	82	共通12_R6	2023年3月22日	建屋に収納する防護対象施設について、配置設計も構造設計の内数であるため、再整理すること。	配置設計も構造設計との認識で再整理する。	資料反映済： 共通12_R7 2023/3/24 提出 別添 構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：灰色ハッチング（対応済のコメント）

：黄色ハッチング（今回のヒアリングでの回答事項）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
共通12全体	—	—	83	共通12_R6	2023年3月22日	コメントリストNo. 65について、主条文にて関連条文一式を説明するはずが、別紙2-8として施設共通基本設計方針を説明するは整理としておかし。これも関連条文であるため、主条文側に整理し説明すること。	別紙2-8は削除し、施設共通基本設計方針についても、主条文の中の関連条文一式の内数として説明する。	資料反映済： 共通12_R7 2023/3/24 提出 別紙3 申請対象設備 (類型分類及び構造設計の整理) リスト 別添 構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理
共通12全体	—	—	84	共通12_R6	2023年3月22日	コメントリストNo. 57について、冒頭宣言のため構造設計との関係有無が「—」としているものの対応次第で本文が変わるがどうするのか。別紙4においてどう示すつもりか。	冒頭宣言のうち以降の基本設計方針で具体が展開されていないものについては、構造設計との関係「○」となることから、その考えに沿って本文と別添を修正する。 別添は構造設計との関係有無のカッコ書きの記載を「構造設計との関係「—」の理由」の欄を追加し、拡充する。 本文の記載については、No. 57と同様。	資料反映済： 共通12_R7 2023/3/24 提出 別紙3 申請対象設備 (類型分類及び構造設計の整理) リスト 別添 構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理
共通12全体	—	—	85	共通12_R6	2023年3月22日	コメントリストNo. 60について、別紙2の中での行の中の関係については、No. 62の対応を踏まえ提示すること。	別添の整理についてはNo. 62と同様。 別添及び別紙2での他条文との関係の示し方については、No. 60と同様。	(No. 60、62と同様)
共通12全体	—	—	86	共通12_R6	2023年3月22日	コメントリストNo. 61について、丸数字の凡例はどこで説明されるのか。別紙4は共通12全体の別添としてつけ、説明の入り口となるため、そこで丸番号の判例も示すこと。	別添の中で丸番号の凡例がわかるように修正する。	資料反映済： 共通12_R7 2023/3/24 提出 別紙3 申請対象設備 (類型分類及び構造設計の整理) リスト 別添 構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理
共通12全体	—	—	87	共通12_R6	2023年3月22日	P2以降の別紙4の記載例が細かすぎて構造設計との関係有無や別紙2との関係について良し悪しがわからない。添付書類が綺麗に横に並ばないところがあるのであれば、備考等にその旨付記し、サンプルとして説明すること。	添付書類の記載をそのまま引用したため、見にくくなっていることから、横のつながりが見にくくなっている箇所を修正する。添付書類の横の並びで悩んだ箇所について具体的に説明する。	資料反映： 共通12 次回提出 別添 構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：灰色ハッチング（対応済のコメント）

：黄色ハッチング（今回のヒアリングでの回答事項）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
共通12全体	—	—	88	共通12_R6	2023年3月22日	コメントリストNo. 72について、2-2の範囲なので、今回の説明範囲ではなく評価へのパス出していいが、パスが適切かを考慮すること。（例：防護板でボルト穴を長孔にしているものは評価が必要だがその趣旨が必要。評価の項目名があれば添付書類名がなくても明確となる）なぜこういう設計で評価が繋がるかを明確にすること。	構造設計の整理から「2-2：解析、評価等」に展開する場合の記載方針を本文「3.1 構造設計の整理の考え方」に記載する。 また、P50含め評価に係る図面については、吹き出し内でその関係が分かるように記載する。	資料反映済： 共通12_R7 2023/3/24 提出 本文 3.1 構造設計の整理の考え方 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1. 2. 1-2表
共通12全体	—	—	89	共通12_R6	2023年3月22日	コメントリストNo. 69, 70について、対応スケジュールを記載すること。	(No. 69、70と同様)	(No. 69、70と同様)
共通12全体	—	—	90	共通12_R6	2023年3月22日	コメントリストNo. 68について、別紙2の構造設計欄に【】が記載されているが、配慮事項にて他条文の設計要求を考慮することから、配慮事項欄に記載すべきでは。再整理すること。	条文要求を見据えて配慮事項が整理されることから、記載位置を配慮事項欄へ見直す。	資料反映済： 共通12_R7 2023/3/24 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1. 2. 1-2表 等
共通12全体	—	—	91	共通12_R6	2023年3月22日	コメントリストNo. 53について、耐震の説明方針を整理して欲しい。4つの分類にするのであれば、その考え方を示すこと。それがないと別添出せないのでは。なお、波及の部分の優先してとのことだが、波及をみれば他のSクラスの方針もみえるかどうかが大変であるため、全体の考え方が分かるようにすること。	(No. 53と同様)	(No. 53と同様)
共通12全体	—	—	92	共通12_R6	2023年3月22日	第2表が複数ある場合はその関係性を【】で示すとの方針だが、表の呼び込みだけでなくNo. についても書いてもらえると分かりやすいため対応すること。	【】の呼び込みの記載については、表のどのNo. との関連が明確となるよう修正する。	資料反映済： 共通12_R7 2023/3/24 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1. 2. 1-2表
共通12全体	—	—	93	共通12_R6	2023年3月22日	コメントリストNo. 3について、2-1として共通12の第2表を整理している中で基本設計方針があり許可が上流にあるので対応可能と考えているが、整理方針をいつ示すか示すこと。	(No. 3と同様)	(No. 3と同様)

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：灰色ハッチング（対応済のコメント）

：黄色ハッチング（今回のヒアリングでの回答事項）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
共通12全体	—	—	94	共通12_R6	2023年3月22日	コメントリストNo. 78について、落雷が設計の前提条件となっていることから、構造設計に該当するのでは。別紙2に落雷も必要であるため、追加すること。	落雷を考慮し、主排気塔と防護板に隙間を設けるといところは構造設計に該当するため、その考え方を踏まえ別添を作成する。 また、落雷の別紙2についても作成する（No. 78と同様）。	資料反映済： 共通12_R7 2023/3/24 提出 別添 構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理（落雷） 別紙2（No. 78と同様）
共通12全体	—	—	95	共通12_R6	2023年3月22日	P88の主排気筒への飛来物防護板の設置に伴う落雷の影響について、電気的な影響が生じない理由として隙間だけでは説明性に欠けるため、再度整理し説明すること。	避雷設備の機能に影響を与えないという配慮事項に対し、具体設備としてどのように設計するのか（どのくらい隙間を設ければいいのか等）を整理し説明する。	資料反映： 共通12 次回提出 別紙2 第1.2.1-5表
共通12全体	—	—	96	共通12_R6	2023年3月22日	飛来物が何かに衝突した後、竜巻防護対象設備に衝突することは問題ない整理なのか。設計上考慮すべき事項としない考え方について、上流からの整理を踏まえ説明を加えること。	検討したうえで、上流からの整理含め、考え方を共通12の配慮事項に追記し、それを踏まえて構造設計の記載も行う。	資料反映： 共通12 次回以降提出
共通12全体	—	—	97	共通12_R6	2023年3月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・ P27のNo. 3について、耐震側の記載が不十分。耐震での相互影響が変位量でしか表現できていない（支持架構がぶつからないようにという意図で変位量を記載していることは理解）が、支持架構の構造設計が上流に記載されていることが見えない。設計コンセプトを順々に整理し、上流との対応関係を整理すること。 ・ 防護板は衝突しても脱落しなければよいという考えか。衝突しても脱落しない評価はどう示すつもりか。竜巻側か耐震側か。共通12のP27の【No. ○】となっているところだろうから早く整理すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記載内容の見直しを図った。支持架構の構造設計については、地震の第1.2.1-1表と紐づけにて示す。 ・ 耐震要求を踏まえた設計のコンセプトを整理し、資料へ反映する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料反映済： 共通12_R7 2023/3/24 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） 第1.2.1-2表 ・ 資料反映： 共通12 次回以降提出

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：灰色ハッチング（対応済のコメント）

：黄色ハッチング（今回のヒアリングでの回答事項）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
共通12全体	—	—	98	共通12_R6	2023年3月22日	支持架構の構造設計について、上位クラスへの波及影響（下位クラス（B,C）が上位クラス（S）への影響）の観点での記載はあるが、防護板同士のぶつかりは下位クラス同士の接触による波及影響の観点での記載が見えない。ラビリンス構造を採用したのは、地震時の相対変位を考慮したからではなく、支持の異なる場所に配置する際、構造的に分離しなかったことが理由なのではないか。その辺の設計コンセプトを分かりやすく整理すること。 なお、支持が異なっても一体構造にしている設備があることを、先日視察で確認しており、設計方針の記載にあたっては矛盾の無いように注意すること。	周辺状況を踏まえて構造的に分離するケース、しないケースを含めて、設計のコンセプトを整理し、資料へ反映する。	資料反映： 共通12 次回以降提出
共通12全体	—	—	99	共通12_R6	2023年3月22日	飛来物防護板として、どういうものを鋼板とし、どういうものをRCとするのかの方針も記載すること。	どういう場合に鋼板を選択するか、RCを選択するか の設計方針を、別紙2の鋼板とRCの整理表でそれぞれ示す。	資料反映： 共通12 次回以降提出
共通12全体	—	—	100	共通12_R6	2023年3月22日	防護板の中にいろいろあるが、No.76の対応はどうなっているのか。防護板というよりは防護扉かと思うが、防護板では説明しきれないのでは。溢水でも扉の中にハッチがあると云っているが支持形態が異なるとコメントしている。支持は構造設計上重要であり、炉の状況は分からないがどう支持している構造設計担保しているか。整理すること。	別途確認し説明する。	資料反映： 共通12 次回以降提出
共通12全体	—	—	101	共通12_R6	2023年3月22日	P31について、複雑な基礎構造、主排気塔との関係があるので、詳しい説明を拡充すること。本コメントは耐震以外についても適切に図面を用いて説明すること。	地震時の揺れ方、力の伝わり方、どこが接触するか、など、耐震評価する上で必要な情報がわかるように図面の拡充、吹き出しの追加等を行う。	資料反映済： 共通12_R7 2023/3/24 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） 第1.2.1-1図
共通12全体	—	—	102	共通12_R6	2023年3月22日	共通12のヒアリングに先立ち、機種分類は不要とのやりとりがあったが、それを踏まえてどういった方向に修正するか。	機種に割ったところで設計自体は変わらないものが多く、3.の機種分類はしないこととする。また、4.においても、位置（建屋内に設置・保管していること）を示す点が抜けているので分類の考え方を整理し直し別途説明する。	資料反映： 重大事故等対処設備の 分類 2023/3/27 提出予定

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：灰色ハッチング（対応済のコメント）

：黄色ハッチング（今回のヒアリングでの回答事項）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
共通12全体	—	—	103	共通12_R6	2023年3月22日	1. で、常設/可搬型/接続口に3分類しているが、技術基準規則では接続口の分類は無い。この3つに分類した考え方は。	36条基本設計方針の多様性・位置的分散において、この3つで章構成をしたことを踏まえて、3分類としたが、接続口に関する要求は、3項の可搬型重大事故等対処設備に記載されたものであるため、大分類としてはふさわしくない。環境条件における整理では、接続口は常設の内数と整理しているため、整理をし直し、1. としては常設/可搬型の2つの大分類とする。	資料反映： 重大事故等対処設備の分類 2023/3/27 提出予定
共通12全体	—	—	104	共通12_R6	2023年3月22日	P100 RC防護板について、既設フードと建物躯体の取り合いが分かるようにすること。	既設フードと建物躯体の取り合いが分かるよう図面を修正する。	資料反映済： 共通12_R7 2023/3/24 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）図
共通12全体	—	—	105	共通12_R6	2023年3月22日	P100 飛来物に対して増設したRC防護版で十分対応できることを説明すること。	No. 82のコメント・対応を踏まえ、竜巻防護対象設備の位置を明確にし、竜巻防護対策設備との位置関係を踏まえ、飛来物に対する貫通及び裏面剥離に対して対応できていることを説明する。（P92AA建屋安全蒸気系設置室他も同様の対応、説明を行う。）	資料反映： 共通12 次回以降提出
共通12全体	—	—	106	共通12_R6	2023年3月22日	（全体） 竜巻防護対策設備の写真を載せるだけでなく、図面との関係を踏まえて必要な説明事項が分かるようにすること。	必要事項が抜けなく、網羅的に説明できるように図面、写真、吹き出しの追加・精査を行う。	資料反映： 次回以降順次提出 共通12 別紙2 構造概要
共通12全体	—	—	107	共通12_R6	2023年3月22日	概要図について、ダクトサポートを追加し、サポートに対する竜巻防護の考え方を示すこと。	ダクトサポートを概要図に追加するとともに、竜巻防護の考え方を示す。	資料反映： 共通12 次回以降提出